

## 『コロラドで得た人生の宝物』

明見中学校 勝俣 汐織

私は、「様々なものを見て、聞いて、体験して、自分の視野を広げたい」という強い思いから、このたび姉妹都市派遣事業に参加させていただきました。今回の事業を通じ、私の心に一番残っていることは、「人の温かさ」です。英語がうまく話せない私は、アメリカの方と会話するときに慌ててしまうことが多く、色々と迷惑をかけてしまいました。しかし、皆さんが私の言葉を理解しようとジェスチャーを使ったり、簡単な言葉で表そうとしてくれる姿に触れ、とても温かい気持ちになりました。ホストファミリーは、私たちを歓迎するために、様々な場所へ連れて行ってくださり、コロラドについて分かりやすく説明をしてくれました。喜びと感謝の気持ちで一杯です。

アメリカでは、日本とは異なる文化を体験することができ、とても刺激的な6日間でした。特に、カウボーイ体験や、夜にお家の庭でデザートを食べながら楽しく過ごしたことなどは、日本では得ることのできない一生の良い思い出です。また、アメリカの広大さにも、とても驚きました。山が迫っている富士吉田とは違い、見渡す限り平地が続き、空も広く、自然豊かな風景に圧倒されました。ガーデン・オブ・ザ・ゴッズでは、正に自然の神秘と言えるようなバランスの岩や赤色の地面という今まで見たことのない景色に触れ、心から感動しました。

他に驚いたことは、人と人との距離感の近さでした。アメリカでは、初対面の人にハグをしたり、お店のレジの人と会話を楽しんだり、街を歩いている人に話しかけたりと、日本の文化との違いを肌で感じました。私は、こうしたコミュニケーションを通じて、様々な人と仲良くなることができ、とても楽しかったです。これはアメリカの素敵なおところだと思いました。

また、これまで私は、家族と長い間離れる経験がありませんでした。そのため、今回の派遣事業では、「自分のことは自分でやる」という、当たり前のことについて改めて考える良い機会となり、自律性を高めることに繋がりました。

更に、ホストファミリーが何度も「心配することは何もないよ」と言ってくださり、居心地良くとても安心してホームステイをすることができ、「人は人に支えられて生きている」という気づきを得ることができました。

この派遣事業で、私は今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができ、本当に自分自身を成長させることができたと思います。今回の素敵なお体験を多くの方にお伝えしていくとともに、今後の目標や将来を決める際に、活かしていきたいです。

私がこの事業に参加し、成長することができたのは、多くの方々の支えがあったからです。皆様のご支援がなければ、これほど素晴らしい経験をすることはできませんでした。

コロラドでの思い出は、私の「人生の宝物」となりました。

貴重な機会を用意してくださり、私を支えてくださった方々全員に、心から感謝しております。本当にありがとうございました。